

(6) 東 海



東海地域では、景気は緩やかに回復している。

- ・ 鉱工業生産は高水準で推移しているものの、弱さがみられる。
- ・ 個人消費は緩やかに増加している。
- ・ 雇用情勢は改善している。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す(―は上方に変更、―は下方に変更)。

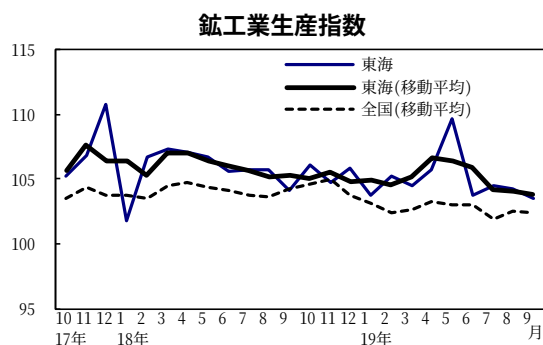
前回からの主要変更点

	前回 (令和元年8月)	今回 (令和元年11月)	
鉱工業生産	緩やかに増加	高水準で推移しているものの、弱さ	↓
雇用情勢	着実に改善	改善	↓

1. 鉱工業生産の動向

鉱工業生産は高水準で推移しているものの、弱さがみられる。

7－9月期には、「輸送機械」は、乗用車が減少したことから、減少した。「電子デバ、電気・情報通信」は、スマートフォン向けの集積回路、液晶が減少したことから、減少した。「石油・石炭製品、化学、プラ製品」は、減少した。「汎・生産・業務用機械」は金属工作機械が減少したことから、減少した。「鉄鋼業、非鉄金属、金属製品」は、減少した。



域内主要業種の動向(季節調整値、前期(月)比) (%)

	付加価値 ウェイト	生産				
		4－6 月期	7－9 月期	7月	8月	9月
輸送機械	40.1	4.0	▲3.2	1.4	0.0	▲1.6
電子デバ、電気・情報通信	13.3	▲0.5	▲2.4	▲1.9	▲0.7	1.6
石油・石炭、化学、プラ製品	13.0	1.3	▲0.7	▲0.5	3.0	▲3.4
汎・生産・業務用機械	11.2	1.5	▲3.4	3.3	▲4.0	0.2
鉄鋼業、非鉄金属、金属製品	6.4	▲0.9	▲2.4	0.3	▲4.3	4.0
鉱工業	100.0	1.8	▲2.2	0.8	▲0.3	▲0.7

(備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い5業種。

2. 7－9月期、9月は速報値。

(備考) 1. 2015年=100、季節調整値。東海の最新月は速報値。

2. 全国及び東海の太線は中心3か月移動平均。

直近月は2か月平均。

3. 東海は内閣府にて算出。

2. 個人消費の動向

個人消費は緩やかに増加している。

(1) 地域別消費総合指数（RDEI（消費））

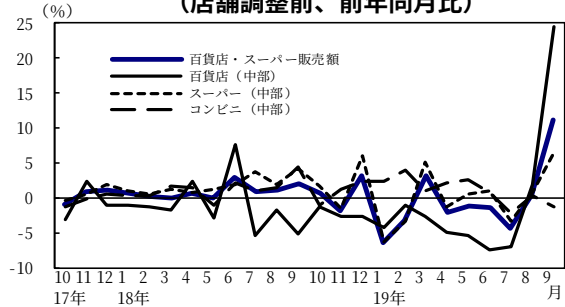
7月は前月比1.3%減、8月は同3.0%増、9月は同1.8%増となった。

(2) 百貨店・スーパー販売額

百貨店は、7月は、衣料品等が振るわなかったことから、前年を下回った。8月は、衣料品等に動きがみられたことから、前年を上回った。9月は、高額品や衣料品等に動きがみられたことから、前年を上回った。

スーパーは、7－9月期は、衣料品等に動きがみられたことから、前年を上回った。

百貨店・スーパー販売額等
(店舗調整前、前年同月比)



	2019年7-9月	2019年7月	8月	9月
RDEI（消費*1）	1.1	▲1.3	3.0	1.8
百貨店・スーパー(*2)	2.1	▲4.4	0.5	11.1
百貨店(*3)	5.6	▲6.9	1.9	24.5
スーパー(*3)	1.2	▲3.3	0.7	6.4
コンビニ(*3)	▲1.1	▲2.3	0.4	▲1.4
乗用車(*4)	11.6	6.5	5.5	20.7
(季節調整値)(*4)	8.0	6.1	3.3	8.3

(備考) 1. 季節調整前前期(月)比 (%)

2. 店舗調整前、前年同期(月)比 (%)

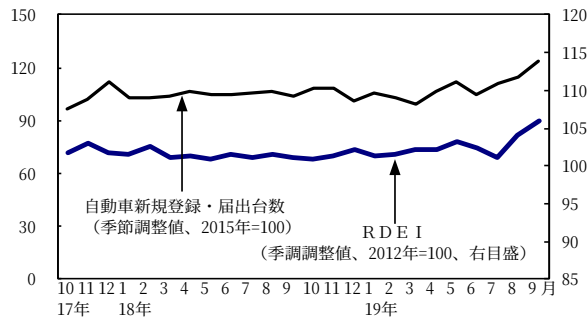
百貨店・スーパーは内閣府にて算出。

3. 店舗調整前、前年同期(月)比 (%)

百貨店、スーパー及びコンビニは、経済産業省の中部
(富山、石川、岐阜、愛知、三重)の値。

4. 乗用車は、新規登録・届出台数（上段は前年同期(月)比 (%)）

RDEI（消費）と自動車新規登録・届出台数の推移



3. 雇用情勢

雇用情勢は改善している。

有効求人倍率は低下している。完全失業率は前期を上回っている。

